

Pioneer



ボイスコントロール DVDカーコンピューター

AVIC-D9000

DVDカーコンピューター

AVIC-D7000

スタートブック

はじめに
読む本

必ず、お読みください。

取扱説明書の分冊構成については、
4ページでご確認ください。

carrozzeria

目次 6ページ
3Dハイブリッド
センサーのリセット
22ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

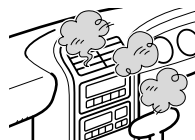
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



規定容量のヒューズを



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

こんなときはこの説明書をごらんください

本機には、5種類の説明書が同梱されています。ご利用状況に応じて使い分けてください。

取り付けかたや接続のしかたを知りたいときは

「取付説明書」をお読みください。オーディオ機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



本機を使い始める前に

「スタートブック」(本書)をお読みください。本機を取り付けた後、実際に使い始めるまでに必要な操作を説明しています。



ナビゲーションの基本的な操作に慣れるまでは

「クイックブック」をお読みください。ナビゲーションの基本的な使いかたを、ふだんよく使う機能を中心に説明しています。



操作がわからなくなったときは

「レスキューブック」をお読みください。ナビゲーションの操作に関するさまざまな疑問にお答えします。



ナビゲーションの機能をもっと活用したいときは

「ナビゲーションブック」をお読みください。ナビゲーションの全機能の使いかたを知ることができます。ナビゲーションの操作辞典としてご利用ください。



MEMO

説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
こんなときはこの説明書を ご覧ください	4
目次	6
はじめに	
主な特長	8
ご使用前に知っておいて いただきたいこと	10

準備

準備1:リモコンの準備をする	12
リモコン設定スイッチを切り換える	12
リモコンに電池をセットする	13
リモコン	13
音声認識コントローラー	13
準備2:各部のなまえと主な働きを知る	14
ナビゲーション本体	14
音声認識コントローラー/マイク	15
受光部付きスピーカー	15
リモコン	16
パイオニア製のTVモニターや カーステレオを組み合わせたときは	18
テレビ操作モードに切り換えたとき	18
オーディオ操作モードに 切り換えたとき	19
準備3:ディスクを本体にセットして 電源を入れる	20
電源の入れかた	20
電源の切りかた	21
準備4:3Dハイブリッドセンサーを リセットする	22
リセット作業を行う	23
うまくリセットできないときは	24
停車中にエラーメッセージが 表示されたときは	25
走行中にエラーメッセージが 表示されたときは	25

TVモニターの操作

- テレビを操作する 26
- 映像を切り換える 26
- ワイド画面の拡大のしかたを変える 26
- 2画面で見る 27
- カーステレオから
テレビの音声を出力する 29
- リストを表示してチャンネルを選ぶ 30
- 自分がいる地域のチャンネルを選ぶ 31
- 一覧表示されないチャンネルを見る 32

その他の操作

- PCカードの取り付けかた・
取り出しかた 34
- 携帯電話をハンズフリーで
操作する 36
- リセットのしかた 37
- ナビゲーション本体 37

付録

- ディスクの正しい使いかた 38
- 保証書発行兼お客様登録カードと
アフターサービス 40
- 仕様 42

高精度、高速化。ナビゲーションの基本機能がさらに充実。

精度専用のチップを搭載し、処理速度を向上しています

精度関連の処理を専門に行うチップを搭載しました。精度を向上させるだけでなく、スクロールやルート探索、検索など、すべてのナビゲーションの機能が速度アップしています。

3Dハイブリットセンサーにより、自車位置を正確に表示できます

3Dハイブリットセンサーで、坂道の登り降り（地面の傾斜）を検知できます。このため、立体交差の道路、地図上で重なりあっている道路なども的確に判断でき、測位に反映します。

D-GPSやマップマッチング機能で、さらに精度を高めています

GPS衛星からの情報に含まれる誤差を修正するD-GPS（ディファレンシャルGPS）や、マップマッチング機能を備えているので、さらに精度よく測位できます。

VICS（道路交通情報通信システム）の情報を利用できます

FM多重放送によるVICS情報を受信して、渋滞情報を地図上に表示できます。

10mスケールまで地図を詳細にできます

10mスケールまでの詳細な地図を表示できるので、入り組んだ道路でも細かく確認できます。

DVDの大容量を活かした豊富な情報を収録しています

電話番号や郵便番号のデータ、各種施設のデータなど、2層DVD・8.5GBならではの豊富な情報が収録されています。データ量は膨大ですが、高速処理ができ、探したい場所もすぐに見つけられます。

音声でナビゲーションをコントロールできます

音声操作でナビゲーションを簡単かつ安全にコントロールできます。ナビゲーションの音声に答えていくだけで、ルート設定などの機能を操作できます。

「AVIC-D7000」で音声操作を行うには、別売の通信/音声認識キット「CD-HV100」が必要です。

ナビゲーションの次のステップへ。新しい機能。

よりドライバーの視点に近い地図表示ができます

新しい地図表示のドライバーズビューやビジュアルシティマップで、よりドライバーの走行感覚に近い表示ができます。



よく使う道を学習。ルート探索に反映します

ナビゲーションが通った道を学習します。よく使う道をルート探索の際、優先的に利用させることができます。

PCカードを使って、機能の拡張やデータの保存・交換ができます

「AVIC-D9000」では、PCカードを使うことで、デジタルカメラで撮った映像を地図に貼り付けられます。また走行データなどを保存すれば、友人のDVDナビゲーションでもそのデータを利用することができます。

携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話が可能になります

携帯電話を接続すると、音声認識コントローラーとマイクを使用して、ハンズフリーで通話することができます。ハンズフリー通話については36ページをお読みください。

検索で見つかった施設名から、直接インターネットにアクセスできます

携帯電話を接続してインターネットを利用できるようにすると、ナビゲーションの検索で見つかった施設名から、メニュー操作ひとつでその施設のホームページにアクセスし、詳しい情報を見ることができます。

車の中で天気予報を見ることができます

インターネットを利用すると、日本全国の天気予報を取り込んで、画面上で確認することができます。目的地付近の天気予報をチェックしておけば、充実したドライブプランを立てられます。

「AVIC-D7000」で携帯電話を接続するには、別売の通信/音声認識キット「CD-HV100」が必要です。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

お使いになる地図ディスクについて

本機のご使用にあたっては、付属のナビゲーション用DVD-ROMディスク「DVDナビゲーションマップ・タイプ」をお使いください。「DVDナビゲーションマップ」は使用できません。また、CD-ROM（「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など）も使用できません。

現在地の表示について

初めて本機を使うときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自車位置が大きくずれることがあります。これは故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自車位置と現在地の誤差を補正する機能をそなえています。この働きによって、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、ずれが少なくなってきます。

安全走行のために

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中には操作できない機能があります。走行中にこのような操作をしようすると、「走行中は操作できません」というメッセージが表示されます。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。VICS情報を受信する設定にした場合は、VICSの規定により走行中は5.5m未満の細街路を表示しない仕様になっています。

AVIC-D7000用：別売の通信/音声認識キット「CD-HV100」について

「CD-HV100」は、「AVIC-D7000」と携帯電話を接続するためのケーブルと、音声認識コントローラー/マイクがセットになった製品です。組み合わせることで、携帯電話でハンズフリー通話をしたり、「AVIC-D7000」を音声で操作したりできるようになります。

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまうことがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。このため日没の時刻になると、画面は自動的に夜画面に変わります。

昼画面・夜画面の切り換えを車のライトのON/OFFと連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。(『ナビゲーションブック』Chapter8の「ナビゲーションの初期設定を変える」)



昼画面



夜画面

本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

準備1:リモコンの準備をする

リモコン設定スイッチを切り換える

リモコンの裏ボタンをはずすと、下図で示した位置にリモコン設定スイッチがあります。本機をお使いいただく前に、設定スイッチをボールペンの先などで次のように設定してください。

- ・設定スイッチを切り換えた後、電池を入れる前に、一度 [決定] ボタンを押してください。この操作を行わないと、切り換えたスイッチが有効になりません。

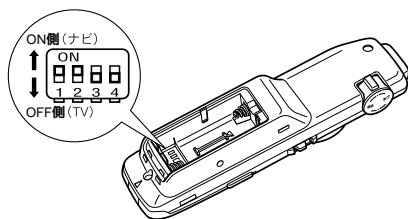
スイッチ1：ダブルディスプレイモード

スイッチ2：ビジュアルセレクト

スイッチ3：ボリューム

スイッチ4：使用しません

スイッチ1～3は、組み合わせるTVモニターに合わせて設定してください。設定を間違えると正しく動作しないのでご注意ください。



組み合わせるTVモニター	スイッチ1	スイッチ2	スイッチ3
TV-W8000 (TV-W818,TV-W808,AVX-P707W)	OFF側	OFF側	OFF側
AVX-P7000W	ON側	OFF側	OFF側
AVX-P7000CD	ON側	OFF側	ON側
他社製TV	OFF側	使用しません	ON側

通常はOFF側でお使いください。OFF側にすると、TVモニター内蔵スピーカーの音量を調整できます。ON側で使用することもできます。この場合、ナビゲーションの音声（ガイド音声）だけの音量を調整できます。

MEMO

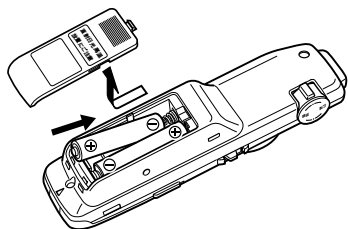
リモコンの取り扱いに関するご注意

- ・リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。

リモコンに電池をセットする

リモコン

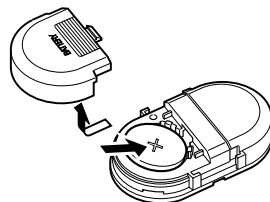
裏ボタンをはずして、単4形アルカリ乾電池（LR03）2本をセットします。



音声認識コントローラー

（AVIC-D9000:付属
AVIC-D7000:別売「CD-HV100」）

裏ボタンをはずして、リチウム電池（CR2032）を(+)側を上にしてセットします。



準備

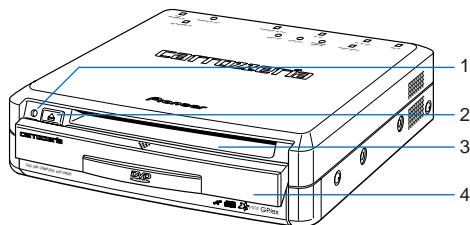
MEMO

電池の取り扱いに関するご注意

- ・ 乾電池やリチウム電池は充電できません。
- ・ リモコンや音声認識コントローラーを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・ 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- ・ リモコンや音声認識コントローラーからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- ・ リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池のご使用をおすすめします。

準備2：各部のなまえと主な働きを知る

ナビゲーション本体（AVIC-D9000、AVIC-D7000共通）

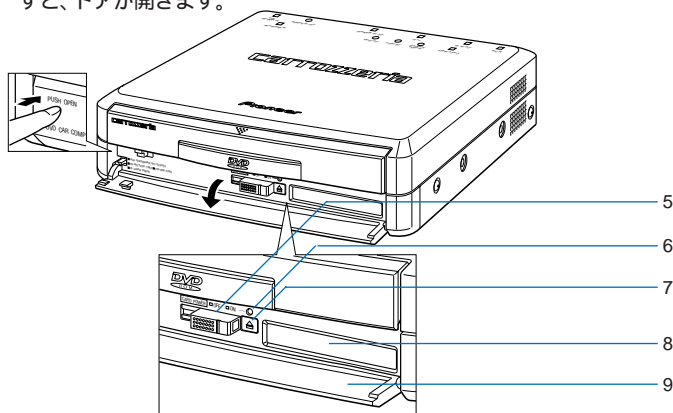


- (1) リセットボタン
(37ページ)
- (2) ディスク取り出しボタン
- (3) ディスク挿入口
- (4) フロントドア
下にスライドさせるとドアが開きます。

ナビゲーション本体（AVIC-D9000のみ）

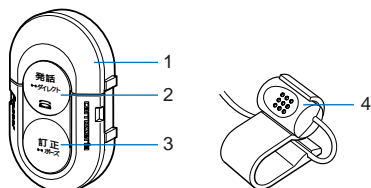
左上の「PUSH OPEN」と書いてある部分を押し、ドアが開きます。

AVIC-D7000では、PCカードは利用できません。



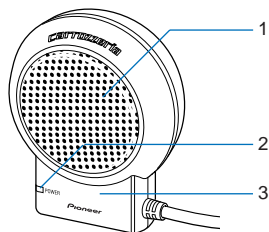
- (5) PCカードロックレバー（ 35ページ）
- (6) CARD POWERランプ（ 34ページ）
PCカードが差し込まれていて、通電しているときに点灯します。
- (7) PCカード取り出しボタン（ 35ページ）
- (8) PCカード挿入口（ 34ページ）
- (9) PCカード挿入口カバー（ 34ページ）

音声認識コントローラー/マイク
(AVIC-D9000 : 付属
AVIC-D7000 : 別売「CD-HV100」)



- (1) リモコン送信部
ここからリモコンの信号が送られます。
- (2) 発話ボタン
ナビゲーションを音声で操作したいときに押します。また、携帯電話を接続している場合、このボタンを押すと、かかってきた電話を受けられます。通話中に押すと電話が切れます。
- (3) 訂正ボタン
音声での操作中に、直前の操作を取り消すときに押します。また、携帯電話を接続している場合は、このボタンを押すと、かかってきた電話を応答保留することができます。
- (4) マイク
発話ボタンを押したあと、このマイクを通してナビゲーションを操作します。電話を利用する場合も、このマイクを使って通話します。

受光部付きスピーカー

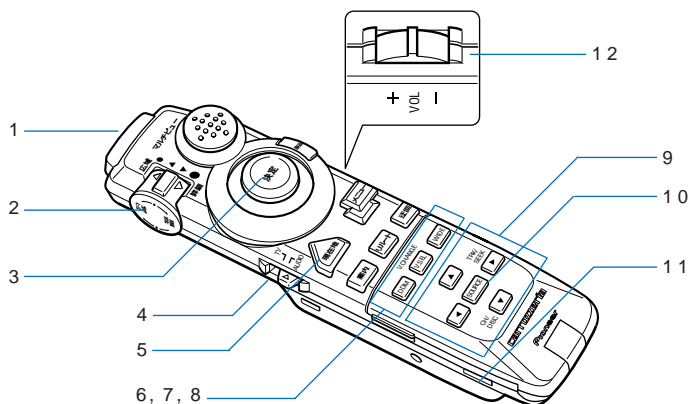


- (1) スピーカー
ナビゲーションの音声案内や、ボタンを押したときの“ピッ”という操作音が流れます。リモコンのVOLツマミで音量を調整できます。
- (2) 電源ランプ
ナビゲーションの電源を入れると赤く点灯し、電源を切ると消えます。
- (3) リモコン受光部
リモコンをここにに向けて操作します。

MEMO

組み合わせるTVモニターによっては、受光部付きスピーカーは使用しません。(TVモニターがリモコン受光部とスピーカーを内蔵している場合。)

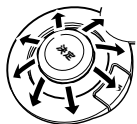
リモコン



(1) リモコン送信部
ここからリモコンの信号が送られます。

(2) スケールコントローラー
地図の縮尺を変えるときに使用します。

(3) ジョイスティック / 決定ボタン



上下・左右・斜めに倒すと、ジョイスティックになります。



まっすぐ押すと、決定ボタンになります。

(4) 操作モード切り換えスイッチ
(18ページ)

(5) 現在地ボタン
地図上に自分の車の現在地を表示します。

(6) DDMボタン (27ページ)
2画面表示に切り換えるときに使用します。

(7) V.SELボタン (26ページ)
見たい映像に切り換えるときに使用します。

(8) WIDEボタン (26ページ)
ワイド画面の種類を選ぶときに使用します。

(9) ・ ・ ・ ◀ ▶ ボタン (18ページ)

(10) SOURCEボタン (18ページ)

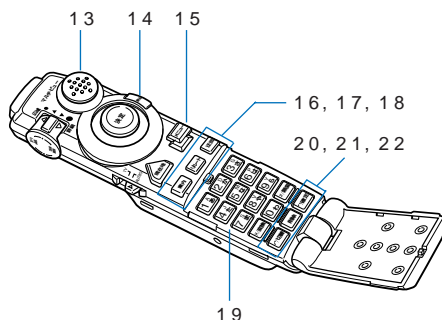
(11) POWERボタン
本機の電源を入/切します。

(12) VOLツマミ (18ページ)

手前に動かすと音量が小さくなります。反対側に動かすと大きくなります。

- ・ 操作モード切り換えスイッチが「TV」のときは、受光部付きスピーカーまたはパイオニア製TVモニターの音量を調整します。

- ・ 操作モード切り換えスイッチが「AUDIO」のときは、パイオニア製カーステレオの音量を調整できます。



(13) マルチビューコントローラー
地図の向きを変えたり、地図を見る角度を変えるときに使用します。

(14) 戻るボタン
前の画面に戻るときに使用します。

(15) メニューボタン
メニュー画面を表示させるときに使用します。

(16) 案内ボタン
ナビゲーションの音声案内をもういちど聞きたいときに押します。

(17) リルートボタン
ルート探索をやりなおすときに押します。

(18) 迂回ボタン
迂回路を探索させるときに使用します。

(19) 10キー
ナビゲーションの電話番号検索や、携帯電話のダイヤル時などに使用します。

(20) オフフック/切替ボタン
電話をかけるときや受けるとき、文字の種類を切り換えるときに使用します。

(21) 削除ボタン
入力した文字を削除するときに使用します。

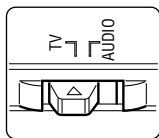
(22) オンフック/確定ボタン
通話を終了したり応答保留したりするときに使用します。また、入力した文字を確定するときにも使用します。

MEMO

(6) ~ (10) および (12) のボタンは、組み合わせたTVモニターやお使いのカーステレオによって一部本書の説明と動作が異なったり、機能しない場合があります。

パイオニア製のTVモニターやカーステレオを組み合わせたときは

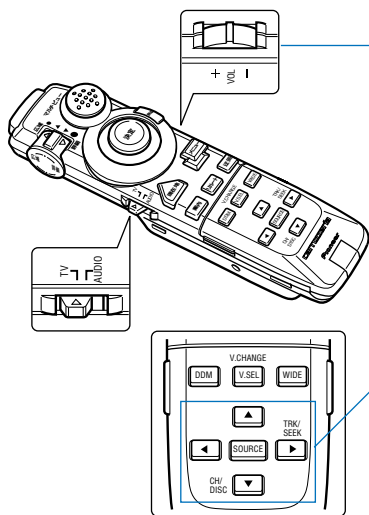
本機に付属のリモコンでは、ナビゲーションの操作はもちろん、パイオニア製のTVモニターやカーステレオ（メインユニット）を操作することもできます。操作モードは、リモコンの左側面にある操作モード切り換えスイッチで切り換えます。操作モードを切り換えることによって、リモコンのVOLツマミおよび・◀▶ボタンの働きが変わります。



「TV」にすると、テレビ操作モードに切り換わります。
「AUDIO」にすると、オーディオ操作モードに切り換わります。

テレビ操作モードに切り換えたとき

ナビゲーションの機能を利用して、テレビの操作を行います。



VOL ツマミ

TVモニター内蔵スピーカーの音量を調整できます。（リモコン設定スイッチの設定によっては、ナビゲーションの音量を調整します。）

・▶ボタン（30、31ページ）

自分がいる地域のテレビ局のチャンネルや記憶されているチャンネルを選局するときに使います。

◀▶ボタン（32ページ）

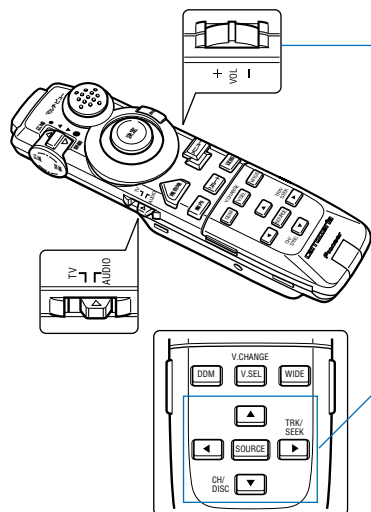
リスト表示されないチャンネルを選局するときに使います。

SOURCEボタン（29、30ページ）

カーステレオのスピーカーからテレビの音声を出力したり、OFFにしたりできます。また、自分がいる地域で受信できるテレビ局をリスト表示させ、見たいチャンネルを選ぶときに使います。

オーディオ操作モードに切り換えたとき

パイオニア製カーステレオの操作を行うことができます。(オーディオ操作モードでカーステレオの操作を行うときは、リモコンをカーステレオに向けて操作してください。)



VOL ツマミ

カーステレオの音量を調整できます。
ツマミを押し込むと、音量が約1/10になります。
(押し込むたびに、カーステレオのアッテネーターをON/OFFできます。)

・ ・ ・ ◀ ▶ ボタン

カーステレオの ・ ・ ・ ◀ ▶ ボタンと同じ働きをします。

SOURCE ボタン

カーステレオのSOURCEボタンと同じ働きをします。

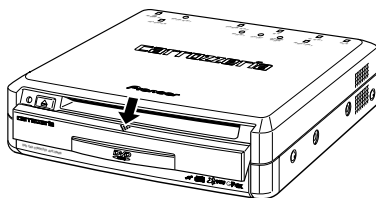
MEMO

- ・ リモコンで操作を行うときは、スイッチの位置を確認してから操作してください。
- ・ リモコン受光部は、TVモニターやカーステレオに内蔵されています。リモコンはTVモニターやカーステレオに向けて操作してください。
- ・ 組み合わせるTVモニターやカーステレオによっては、本機のリモコンで操作できない場合があります。

準備3:ディスクを本体にセットして電源を入れる

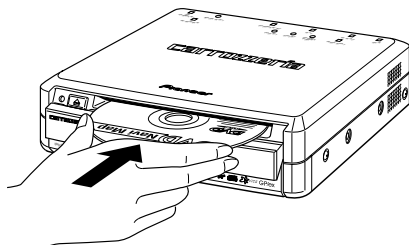
電源の入れかた

- 1 車のエンジンをかける
- 2 本体前面のフロントドアを開ける



フロントドアを下にスライドさせます。

- 3 タイトル面を上にして、ディスクを挿入口に差し込む

**注意**

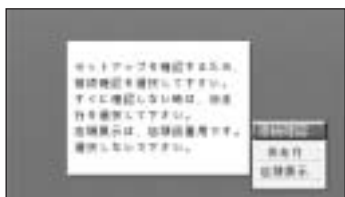
ディスクを入れたら、必ずフロントドアを閉じてください。

- 4 フロントドアを閉じる

ディスクを挿入するといったん電源が入/切します。その後、再び電源が入りオープニング画面が表示されます。

**MEMO**

リセットボタンを押した後やバッテリーを外した後などに、いったん電源が入/切することがありますが、故障ではありません。



初めてお使いの場合は、しばらくすると上の画面が表示されます。このあとは22ページへ進み、必ず3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。(センサーリセットが正しく行われると、次からは現在地を示す地図が表示されます。)

電源の切りかた

リモコンのPOWERボタンを押すと、電源が切れます。もう一度POWERボタンを押すと、再び電源が入ります。

MEMO

お使いになるディスクについて

- ・本機では、付属のDVDナビゲーションディスクなど、本機専用のDVD-ROMのみお使いいただけます。

ディスクの取り扱いについて

- ・セットしたディスクは、通常取り出す必要はありません。ディスクを交換する必要があるときは、ディスク取り出しボタンを押して、取り出します。
- ・取り出したディスクは、ケースに入れて保管してください。

準備4:3Dハイブリッドセンサーをリセットする

電源を入れたら、本体内蔵のセンサーをリセットします。初めてお使いになる場合は、必ずこの操作を行ってください。また、タイヤを変更した場合なども、この操作を行います。

こんなときはセンサーをリセットしてください

- ・本機の取り付け完了後
- ・本機の設置場所を変更したとき
- ・タイヤを変更したとき
(同一サイズのタイヤでも、わずかにサイズが異なります。同一サイズのタイヤに交換した場合に自転車位置のずれが大きくなるようなときは、センサーをリセットしてください。)
- ・未使用のセンサーメモリーに切り換えたとき
(『ナビゲーションブック』Chapter8の「ナビゲーションの初期設定を変える」)

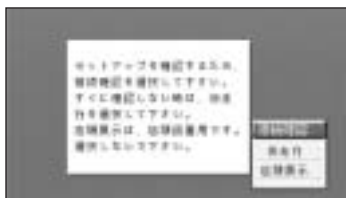
リセット作業に適した場所は？

正しくリセットを行うために、次のような場所を選んでください。

- ・しばらくの間、安全に停車できる場所
- ・GPS衛星の電波を受信しやすい、見晴らしの良い場所(周囲に高い建物や樹木があったり、ビルの駐車場の中にいたりすると、GPS衛星の電波を受信できないことがあります)
- ・水平な場所(坂道や、路面の起伏が大きい場所では、正しくリセットできません)
- ・30km/h以上の速度で、10秒以上直進できる場所(約100m程度の距離)

リセット作業を行う

- 1 作業に適した安全な場所に車を止める
- 2 本機の電源をONにする
- 3 ジョイスティックを操作して画面から [接続確認] を選び、決定ボタンを押す

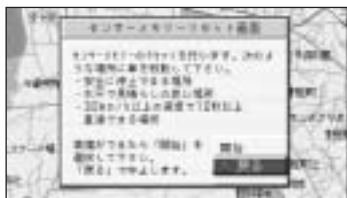


MEMO

とりあえず車を移動したいときは、[仮走行] を選んでください。ただし、[仮走行] を選んだ場合は自転車位置の精度が悪いうえ、ナビゲーションの機能も完全には使用できません。[仮走行] を行った後は、必ずセンサーリセットの操作を行ってください。

なお、[店頭展示] は、店頭でのデモンストレーション用なので、選択しないでください。

- 4 ジョイスティックを上下に動かして [センサーリセット] を選び、決定ボタンを押す



- 5** ジョイスティックを上下に動かして [開始] を選び、決定ボタンを押す

センサーのリセット作業が始まります。停車したままでしばらくお待ちください。



- 6** 走行開始のメッセージが表示され、音声案内が流れたら、車を走行させる

水平な場所を、30km/h以上の速度で10秒以上、前方に直進させてください。

- 7** 作業終了のメッセージが表示され、音声案内が流れたら、安全な場所に車を止める

リセットが正しく行われたときは、画面上の自車マークが から に変わり、正しい現在地が表示されます。

うまくリセットできないときは

本機が正しく取り付けられていなかった、車が完全に停止していない、GPS電波の受信状況が悪いなど、正しくリセットできなかった場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。(次ページ)



画面上で [確認] を選んで決定ボタンを押し、画面に表示されたメッセージにしたがってリセットエラーの原因を解決してから、手順3から操作をやり直してください。

3Dハイブリッドセンサーのリセットがうまくいかない場合、画面にエラーメッセージが表示されます。下記を参照してエラーの原因を取り除いてから、リセット操作をやり直してください。

停車中にエラーメッセージが表示されたときは(24ページ、手順5)

車を停車させ、センサーリセットの準備を行っているときには、次のようなメッセージが表示されます。

「本機の取付け位置を変更して下さい。」

停車状態で本機に大きな振動が伝わると、3Dハイブリッドセンサーがリセットされません。なるべく振動が伝わらない位置に、本機を取り付け直してください。

「車速パルスが検出されました。車を停止してリセットを行なって下さい。」

- ・車が動いてしまった可能性があります。車を停止させた状態でリセットをやり直してください。
- ・車を停止させた状態でこのメッセージが表示される場合は、『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

「GPSが測位できません。見晴らしのよい場所へ移動して下さい。」

- ・建物や樹木などにより、衛星からの電波が受信できていないことが考えられます。見晴らしの良い場所に移動してください。
- ・見晴らしのよい場所でも測位できない場合は、「接続確認画面」でGPSアンテナの接続状態を確認してください。また、GPSアンテナを車室内(ダッシュボード上など)に取り付けている場合、必ず付属の金属シートを使用してください。金属シートを使わなかったり、金属シートを切ってしまうと、GPSアンテナの感度が落ちてしまいます。
- ・「接続確認画面」でGPS感度を確認しながら、感度が一番良くなる場所にアンテナを取り付けてください。

走行中にエラーメッセージが表示されたときは(24ページ、手順6)

車を走行をさせてもリセットが行われなかった場合は、次のようなメッセージが表示されます。

「GPS受信が不安定です。見晴らしのよい場所で行なって下さい。」

建物や樹木などにより衛星からの電波が受信できていないことが考えられます。見晴らしの良い場所に移動して、リセットをやり直してください。

「Gセンサーの向きが間違っています。取付説明書を確認して下さい。」

『取付説明書』を参照して本機を取り付ける方向を変えるか、本機の底面にある角度の設定を変更してください。

「車速パルスが異常です。接続を確認して下さい。」

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

「30km/h以上で走行して下さい。」

なるべく水平で、30km/h以上で直進走行できる場所に移動してから、リセットをやり直してください。

テレビを操作する

パイオニア製TVモニターと組み合わせている場合には、本機に付属のリモコンでTVモニターの操作を行うことができます。

組み合わせるTVモニターによっては、一部説明と動作が異なったり、機能しない場合があります。

映像を切り換える

リモコンのV.SELボタンは、TVモニターのV.SELボタン（TVモニターによってはV.CHANGEボタン）と同じ働きをします。

1 V.SELボタンを押して、見たい映像に切り換える

ナビゲーションやテレビ、ビデオの映像が順に切り換わります。

MEMO

AVマスターユニット「AVM-P7000」と組み合わせた場合は、本機のV.SELボタンでは、ナビゲーションの映像に切り換わりません。AVマスターユニットで操作してください。

ワイド画面の拡大のしかたを変える

リモコンのWIDEボタンは、TVモニターのWIDEボタンと同じ働きをします。

1 テレビかビデオの映像を表示させる

ナビゲーションの映像が表示されている場合は、V.SELボタンを押して、テレビまたはビデオの映像を表示させてください。

2 WIDEボタンを押して、ワイドモードを切り換える

WIDEボタンを押すたびに、ワイドモードが切り換わります。

2画面で見る

「TV-W8000」と組み合わせた場合

リモコンのDDMボタンは、「TV-W8000」のDDMボタンと同じ働きをします。また、リモコンのV.SELボタンでは、映像の組み合わせを換えることができます。

1] DDMボタンを押して、2画面モードを切り換える

1画面 ピクチャー サイド ピクチャー ピクチャー イン ピクチャー の順に切り換わります。

2] V.SELボタンを押して、映像の組み合わせを選ぶ

見たい組み合わせになるまで、V.SELボタンを押してください。

「AVX-P7000W」「AVX-P7000CD」と組み合わせた場合(AVIC-D9000のみ)

ナビゲーションの映像を表示しているときに画面を2分割して、ナビゲーションとテレビの映像を同時に見ることができます。

1] ナビゲーションの映像にする

2] DDMボタンを押して、2画面表示にする

DDMボタンを押すと、2画面表示に切り換わります。



1画面で表示したとき



2画面で表示したとき

DDMボタンを押すたびに、1画面表示と2画面表示が切り換わります。

MEMO

- ・2画面とも同じ映像にすることはできません。
- ・2画面表示のときにナビゲーションの操作を行うと、操作をしやすいするため、ナビゲーションの映像や操作ウィンドウが優先的に表示されます。(一時的に1画面表示になることもあります。詳しくは『ナビゲーションブック』付録の「2画面でのナビゲーションの映像」をご覧ください。)

リモコンでは、ナビゲーションの機能を利用したテレビの操作も行うことができます。(この場合、ナビゲーションがテレビをコントロールします。)

- ・ 29ページから32ページまでの操作は、リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」側に切り換えて行ってください。なお、「AVX-P7000CD」ではこれらの操作を行うことはできません。
- ・ 29ページから31ページまでの操作は、ナビゲーションの映像を表示させてから行うことをおすすめします。リモコン操作を行うとナビゲーションの映像の上に操作ウィンドウが表示されるので、操作内容が確認しやすくなります。(2画面表示にしているときでも操作ウィンドウは表示されます。)



- ・ 操作ウィンドウは、操作後、約8秒間表示されます。操作ウィンドウをすぐに消したいときは、リモコンの[戻る]ボタンを押してください。
- ・ ナビゲーションの映像が表示されていないときは、操作ウィンドウは表示されませんが、操作を行うことはできます。(この場合、受信チャンネルなどは、テレビ側の表示で確認できます。)

カーステレオからテレビの音声を出力する（音声ソース切り換え）

FMトランスミッター機能などを利用して、カーステレオでテレビの音声を聞く設定にしている場合は、ナビゲーションの音声ソースを「テレビ」に切り換えてください。

1 リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする

2 リモコンのSOURCEボタンを短く1回押す

画面に「テレビ」と表示され、カーステレオからテレビの音声が出力される設定になります。



ボタンを押すたびに、「テレビ」と「テレビ音声オフ」が交互に切り換わります。「テレビ音声オフ」のときは、カーステレオから音声は出力されません。

リストを表示してチャンネルを選ぶ

現在自分がいる地域の代表的なテレビ局のチャンネルと、テレビ側に記憶されているチャンネルを、合わせてリスト表示することができます。また、そのリストから見たいチャンネルを選ぶことも可能です。

- 1 リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする
- 2 リモコンのSOURCEボタンを2秒以上押す

チャンネルがリスト表示されます。



- 3 リモコンの [] ボタンまたは [] ボタンを押して、見たいチャンネルを選ぶ

MEMO

- ・「テレビ音声オフ」のときは、この操作はできません。
- ・自分がいる地域の代表的なテレビ局は、ナビゲーションが測位した現在地と、ディスクに収録されている地域別のテレビ局のデータを元に、リスト表示されます。
- ・代表的なテレビ局としてディスクに収録されているチャンネルは、テレビ局の名前で表示されます。
- ・テレビ側に記憶されているチャンネルは「 [] チャンネル」と表示されます。ただし、そのチャンネルが代表的なテレビ局でもある場合は、テレビ局の名前で表示されます。
- ・旅行や出張などで、受信できるチャンネルが異なる地域に移動した場合でも、測位した現在地情報をもとに、その地域に合ったチャンネルがリスト表示されます。
- ・代表的なテレビ局としてリスト表示されても、現在地周辺の環境や電波の状況によっては、受信できない場合があります。
- ・ディスクに収録されていないテレビ局は表示されません。新しく開局したテレビ局などは、自動選局で受信してください（「一覧表示されないチャンネルを見る」32ページ）。

自分がある地域のチャンネルを選ぶ（エリア選局）

リスト表示させる操作を省略して、現在自分のある地域の代表的なテレビ局のチャンネル（およびテレビ側に記憶されているチャンネル）を簡単に選局することができます。

1 リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする

2 リモコンの ボタンまたは ボタンを押す

リスト表示されるチャンネルに、順番に切り換わります。



MEMO

「テレビ音声オフ」のときは、この操作はできません。

一覧表示されないチャンネルを見る

一覧表示されないチャンネルでも、受信状態が良ければ自動的に選局することができます。また、手でチャンネルを合わせることもできます。

- 1 リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする
- 2 リモコンの◀ボタンまたは▶ボタンを押す



ボタンを押す長さによって、次のように選局方法を使い分けることができます。

選局方法	ボタンを押す長さ
手動選局（1ステップずつ）	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

途中の放送局をとばしたいときは、ボタンを押し続けます（0.5秒以上）。ボタンを離れたところで、自動選局を開始します。

PCカードの取り付けかた・取り出しかた

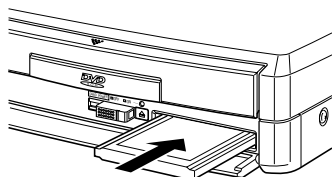
「AVIC-D9000」では、PCMCIAタイプIIのATAフラッシュカード「CNFC-8M」(別売)などを利用することができます。

PCカード挿入口カバーを開ける



左上の「PUSH OPEN」と書いてある部分を押し、ドアが開きます。

PCカードをセットする



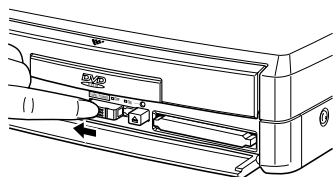
PCカードのタイトル面を上にして、カードに記載されている矢印の向きにPCカードを差し込みます。PCカード取り出しボタンが前に出て、カチッとロックされるまでしっかり差し込んでください。

PCカードが正しくセットされると、本機の電源が入っているときはCARD POWERランプが点灯し、PCカードが使えるようになります。

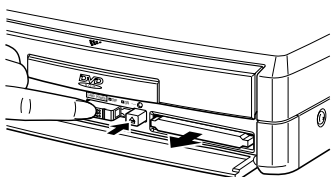
MEMO

PCカードは本機の電源の入/切に関係なくセットや取り出しができます。

PCカードを取り出す



PCカードロックレバーを左にスライドさせて、指で押さえておきます。



CARD POWERランプが消灯したことを確認してから、PCカード取り出しボタンを押します。(本機の電源が入っていないときは、CARD POWERランプは消灯しています。) PCカードが前に出てきますので、PCカードロックレバーから指をはなし、カードを取り出してください。取り出したカードはケースに入れて保管してください。

MEMO

PCカードの取り扱いに関するご注意

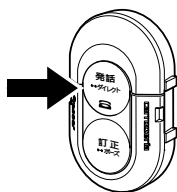
- ・ CARD POWERランプの点灯中にカードを引き抜かないでください。ナビゲーション本体およびPCカードの破損の原因になります。
- ・ PCMCIAタイプII(5V)以外のカードは使用できません。規格の異なるカードを差し込むと、カードスロットが破損するなどの故障の原因となります。

携帯電話をハンズフリーで操作する

「AVIC-D9000」では、付属の携帯電話接続ケーブルで本機と携帯電話を接続するだけで、音声認識コントローラーとマイクを使って、携帯電話をハンズフリーで操作できます。「AVIC-D7000」では、別売の通信/音声認識キット「CD-HV100」を使用することで、ハンズフリー操作が可能になります。

電話を受ける

電話がかかってきたときに、音声認識コントローラーの[発話]ボタンを押すと、電話がつながります。音声操作用マイクを通して通話します。



注意

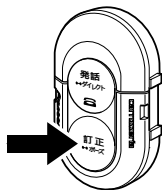
- ・ハンズフリー通話では、通話相手の音声は受光部付きスピーカーまたは組み合わせたTVモニターの内蔵スピーカーからのみ出力されます。
- ・通話中はナビゲーションを音声で操作することはできません。

電話を切る

通話中に[発話]ボタンを押すと、電話が切れます。

電話を応答保留する

電話がかかってきたときに、音声認識コントローラーの[訂正]ボタンを押すと、応答保留することができます。応答保留中に[発話]ボタンを押すと、電話につながります。応答保留中に[訂正]ボタンを押すと、電話が切れます。



応答保留中、通話相手には「間もなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、しばらくたってからもう一度おかけなおしてください。」といったメッセージが流れます。(メッセージは携帯電話事業者によって異なります。)

MEMO

- ・ナビゲーションのメニュー操作中に電話がかかってきた場合、それまでの操作がキャンセルされ、電話を受けられる状態になります。
- ・本機のリモコンを使って電話をかけることもできます。(『ナビゲーションブック』Chapter7の「携帯電話を利用する」)

リセットのしかた

次のようなときは、ナビゲーション本体のリセットボタンを押して、マイコンをリセットしてください。

- ・接続が終わった後
- ・正しく動作しないとき
- ・画面が正しく表示されないとき

ナビゲーション本体

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



リセットボタン

ディスクの正しい使いかた

使用できるディスク

本機では、本機専用のDVD-ROMのみが使用できます。

一般のDVD-ROMやCD-ROM、音楽CDなど、本機専用以外のディスクは使用できません。

ひび、キズ、そのあるディスクは使用しないでください。



取り扱い上のご注意

ディスクは、記録面(虹色に光っている面)をさわらないように、持ってください。

ディスクにキズを付けないでください。

ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。



MEMO

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽く拭いてください。



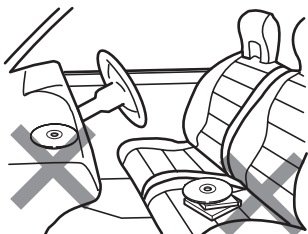
ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



当社では、ディスクのクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

保管上のご注意

ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックでディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り換えが遅くなってしまふことがあります。)寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。ディスクに付いたつゆは柔らかい布でふいてください。

高温になると、保護機能が働き、ナビゲーションの動作が停止します。

保証書発行兼お客様登録カードと アフターサービス

保証書発行兼お客様登録カード

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ですが、住所、お名前、電話番号および必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード」を必ず弊社までご返送くださるようお願いいたします。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。お客様登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。（ご返送いただけない場合はお客様の登録ができないため保証書の発行ができません。）送られてきた保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書のお届けには多少日数がかかります。保証書が届くまでの間、「保証書発行兼お客様登録カードお客様控」は保証書の代わりになります。大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更が生じましたら、お手数ですがパイオニアお客様相談センターへご連絡くださるようお願いいたします。

お客様相談センター：☎0070-800-818111

サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。

無料修理規定

- 1.保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 - 2.本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
 - 3.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
 - 4.ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、お近くのパイオニアサービスステーションへご相談ください。
 - 5.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。

火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
保証書の文字を書きかえられた場合。
保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
 - 6.保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - 7.保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、パイオニアお客様相談センターにお問い合わせください。
- * 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

ナビゲーション本体 (GPS部)

方式：
L1、C/A コード GPS、SPS スタンダード・ボ
ジショニング・サービス
受信方式：
8チャンネル マルチ チャンネル受信方式
受信周波数：
1,575.42 MHz
感度：
-130 dBm
測位更新時間：
約1回/1秒

ナビゲーション本体 (共通部)

映像出力レベル：
1 Vp-p、75 不平衡、同期負
最大消費電流：
1.5 A
使用電源：
DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V使用可能)
アース方式：
マイナスアース方式

GPSアンテナ

アンテナ：
マイクロストリップ平面アンテナ/右円偏波
アンテナケーブル長：
6.0m

受光部付きスピーカー

スピーカー：
36 mm
ケーブル長：
6.0 m

外形寸法

ナビゲーション本体：
200 (W) x 52 (H) x 209 (D) mm
GPSアンテナ：
46 (W) x 46 (H) x 13 (D) mm
リモコン：
38 (W) x 145 (H) x 30 (D) mm
音声認識コントローラー (AVIC-D9000)：
34 (W) x 56 (H) x 16 (D) mm
受光部付きスピーカー：
58 (W) x 71 (H) x 23 (D) mm

質量

ナビゲーション本体：
2.1 kg
GPSアンテナ：
130 g
リモコン：
80 g (電池含む)
音声認識コントローラー (AVIC-D9000)：
20 g (電池含む)
受光部付きスピーカー：
180 g

付属品

DVD-ROMディスク：1
リモコン：1
単4形アルカリ乾電池 (LR03)：2
コード類：1式
取付キット：1式
取付説明書：1
スタートブック：1
クイックブック：1
ナビゲーションブック：1
レスキューブック：1
安全上のご注意：1
保証書発行兼お客様登録カード：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内：1
VICSサービス契約約款：1
(AVIC-D9000のみ)
音声認識コントローラー：1
リチウム電池 (CR2032)：1
マイク：1

MEMO

- ・仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- ・本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- ・テレビの受信状態がよくないチャンネル（電波の弱いチャンネル）は、GPSの影響で、画面に斑点や色模様などのノイズが出ることがあります。

スタートブック

START
BOOK

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

☎0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

☎0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

☎0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99D00F0Y01 > < CRA2728-B >